

ある校長先生の言葉を聞いて、普段何気なく聞いてしまっていた言葉にとても大切な意味があることを思い知らされた▼朝の交通指導でボランティアに立っていただいたり、集合場所までお子さんを送ってくださったりする方の中で、「おねがいします」と言ってくださる方がいる。その言葉の意味を考えた時、わたしたち学校職員はその願いにこたえているだろうかと自問自答▼強がって言えば、願いに答えています。少し謙虚に言えば、答えようと努力をしています。少し開き直って言えば、できることとできないことがあります▼その答えに正しく答えられるのは、もしかしたら「おねがいします」と言ってくださる方かもしれない。ひょっとすると「あとはおねがいします」なのかもしれない。わたしたちは、地域の大切なお子さんを預かって教育をさせてもらっていることを忘れてはならない。自戒の念である▼ところで子どもたちはそんなボランティアやおうちの方にと止まってくださる車に「ありがとう」という感謝の気持ちを言葉で表しているだろうか。「おはよう」も大切であるが「ありがとう」と言える子も育てたい▼学校ができるのは教育の成果を子どもの姿で見せることである。「おねがいします」そう言ってくださる方に「預けていただいてありがとうございます」と答えられる学校でありたい。今日も学校に来てくれてありがとう。